

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		全ての職員が「海」「空」「自由」「笑顔」「ゆとり」「地域」「家族」という各項目のキーワードを思い浮かべながら介護に当たる様にすれば、理念の実践が容易になると思われます。	今一度、理念を共有し、日々の介護の仕事に、それぞれのキーワードが含まれているどうかを確認する。	月1回開催の全体会議に、会議の中で、理念を唱和することにより、より理念を取り入れやすくする。	12ヶ月
2		今後ホームでの看取りを希望するケースが増えることが予想されています。いざという時に備え、医師や看護師と打ち合わせをよく行っておき、職員も十分心構えを共有できるよう、研修を重ねる等対策を取っていくことが期待されます。	今年度中に、ホームで看取りを行う為に、看取りに関する研修と医療機関への協力体制を構築する。	研修については、看護師と管理者が中心となっ て行なう。(7月・9月・11月) 医療機関との連携は、訪問診療を利用して頂く ことで、24時間医師と連絡可能な状態を作り、 万全な体制をとる。	12ヶ月
3		万一に備え、夜間一人勤務体制の時に火災が発生した場合の対応手順をどうするか、職員皆で話し合っ て、手筈を取り決めておくことが望ま れます。	夜間一人勤務体制を想定した、年2回の 避難訓練の実施。自治会長からご紹介いた だいた、地区の防災担当者様に連絡し、万 が一の場合の地域との連携体制について 話し合い、体制作りを確立する。	4月23日と10月に、避難訓練を実施予定。 夜間一人で、どのように避難誘導を行うかの確 認と実施。特に、夜間は、人手が無い為、地域 の方々への協力を、依頼する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。